

# VirtuAttendant

## VxRail 設定事例

2022 年 1 月

オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社

IoT ソリューション事業本部 事業統括部

**■本書の表記について**

本書では、以下の表記を使用しています。

| 表記     | 意味  |
|--------|---|
| 【 】    | 画面に表示される項目で、操作対象のもの(クリックできるボタン類)を表します。<br>(例)【設定】ボタン  |
| 『 』    | 画面に表示される項目で、画面名や設定値を表します。<br>(例)『シャットダウン設定』           |
| SRS    | Secure Remote Support を指します。                          |
| ユーザ VM | VxRail Manager、SRS、vCLS、vCenter Server 以外の仮想マシンを指します。 |
| vCS    | vCenter Server を指します。                                 |
| 管理ソフト  | 本ソフトウェアで表現される管理ソフトとは、vCS、ESXi を指します。                  |
| VA     | 本ソフトウェアで表現される VA とは VirtuAttendant を指します。             |

## 目次

|   |        |
|---|--------|
| ■はじめに .....                                 | - 4 -  |
| ■免責事項 .....                                 | - 5 -  |
| ■構成情報 .....                                 | - 6 -  |
| ▼構成図 .....                                  | - 6 -  |
| ▼製品・ソフトウェアバージョン .....                       | - 6 -  |
| ▼VxRail の停止・起動手順 .....                      | - 8 -  |
| ▼シャットダウン要件・起動要件 .....                       | - 9 -  |
| ■動作シーケンス .....                              | - 10 - |
| ▼停電時の動作シーケンス .....                          | - 10 - |
| ▼復電時の動作シーケンス .....                          | - 12 - |
| ■VirtuAttendant 設定方法 .....                  | - 14 - |
| ▼設定概要 .....                                 | - 14 - |
| ▼VirtuAttendant のデプロイおよび Web アクセスについて ..... | - 14 - |
| ▼設定ウィザード .....                              | - 15 - |
| ・STEP1. ネットワークカード設定 .....                   | - 15 - |
| ・STEP2. UPS 設定 .....                        | - 16 - |
| ・STEP3. 管理ソフト設定 .....                       | - 17 - |
| ・STEP4. 停止優先度設定 .....                       | - 19 - |
| ・STEP5. 起動優先度設定 .....                       | - 20 - |
| ・STEP6. 確認 .....                            | - 21 - |
| ・STEP7. 完了 .....                            | - 22 - |
| ▼グループ設定 .....                               | - 23 - |
| ▼除外設定 .....                                 | - 27 - |
| ▼優先度設定 .....                                | - 30 - |
| ・停止優先度設定 .....                              | - 30 - |

---

|                              |        |
|------------------------------|--------|
| ・起動優先度設定 .....               | - 32 - |
| ▼NW カード設定 .....              | - 34 - |
| ・シャットダウン設定 .....             | - 34 - |
| ・スクリプト設定 .....               | - 36 - |
| ・VA シャットダウン設定 .....          | - 42 - |
| ■参考情報 .....                  | - 43 - |
| ▼待ちスクリプト .....               | - 43 - |
| ▼vCS のパスワードを変更した時の設定方法 ..... | - 43 - |

## ■はじめに

本書は、VxRail 7.0.300 に ESXi 7.0 Update 3 を構築している環境で、仮想化環境専用自動シャットダウンソフト VirtuAttendant (型式:PA10V) と NW カード SC21 のスクリプトシャットダウン機能を併用したシャットダウン設定および復電時の自動起動設定について記載したものです。

VirtuAttendant は仮想マシンの制御を行い、SC21 は VxRail Manager のシャットダウン機能の実行、および ESXi と VirtuAttendant の起動を行います。

### 《停電時の処理概要》

VirtuAttendant は仮想マシンの電源 ON/OFF を判断できるため、シャットダウン時は仮想マシンのシャットダウン順番のみを設定し、シャットダウンの自動化を行います。

VirtuAttendant と SC21 の連携は、VirtuAttendant が役割を終えたタイミングで VirtuAttendant から SC21 に連絡します。連絡を受け、SC21 は VxRail Manager のシャットダウン機能を実行します。

SC21 は、電源 ON/OFF の判断を行っていないため、スクリプトの発行タイミングは時間設定で行います。

### 《復電時の処理概要》

UPS 起動後、SC21 から iDrac 経由でサーバの電源を ON するスクリプトを実行することで、ESXi が起動します。

ESXi の起動後、ESXi のメンテナンスモードの解除や vCS の起動などは VxRail が自動で実行します。

vCS が完全に起動したタイミングで、SC21 は VirtuAttendant の起動を行います。

停電時と同様、スクリプトの発行タイミングは時間設定で行います。

VirtuAttendant を起動後、VirtuAttendant がその他の仮想マシンを起動します。

仮想マシンの起動については、VirtuAttendant 側で自動判断せず、時間設定により、仮想マシンの自動起動を順番に行います。

なお、本書内に記載されている構成および設定値はサンプルです。

本設定事例の内容に™、®マークは表示していません。

## ■免責事項

本書を利用される前に以下の注意点をお読みいただき、ご承諾いただいた上でご利用ください。

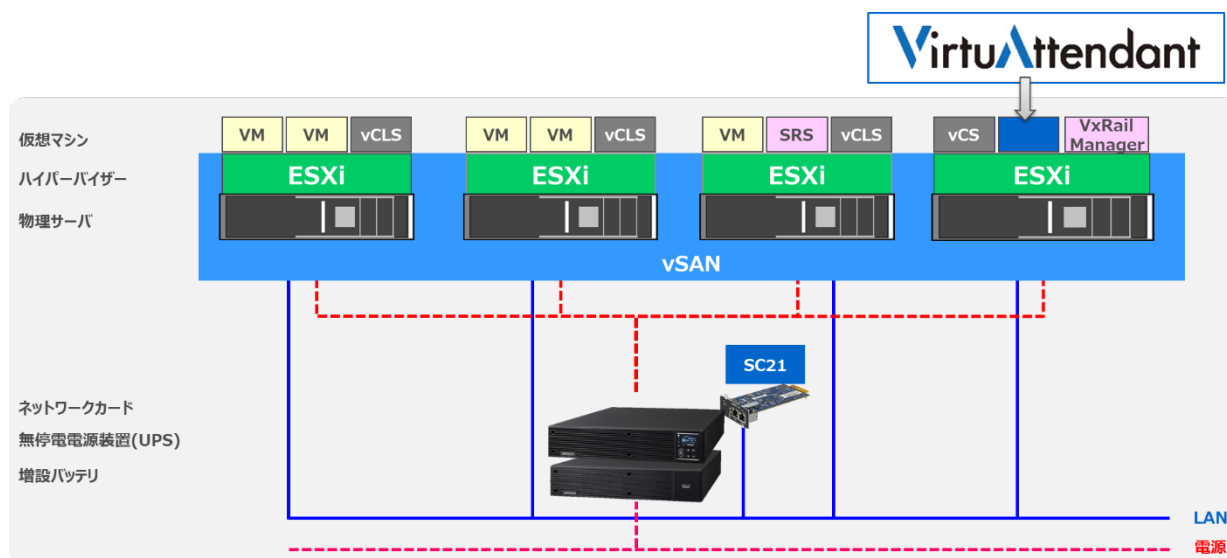
- ・本書の著作権はオムロン ソーシャルソリューションズ株式会社(以下当社)に帰属します。本書の記載内容全て、またはその一部を複製や再配布することは禁じられています。
- ・本書の利用条件や記載内容は予告なしに変更することがあります。
- ・本書は、当社が把握・確認した内容を基に作成したものであり、お客様環境における製品機能の仕様や動作について担保・保証するものではありません。
- ・本書の記載内容は、本書発行時点の情報であり、製品のバージョンアップ等による機能拡張によって実際の操作手順や画面構成、機能動作等が変更される場合があります。
- ・本書は利用者の自己責任のもとに利用されるものとします。本書の利用によりトラブルが発生した場合、利用者又は第三者に損害が生じた場合であっても、当社は損害賠償その他一切の責任を負いません。

## ■ 構成情報

本構成の全体図と、使用している製品・ソフトウェアバージョン、シャットダウンおよび起動の要件について記載します。

### ▼ 構成図

本構成は、VxRail 4 ノードを UPS 1 台に接続する構成です。



### ▼ 製品・ソフトウェアバージョン

本構成で使用している製品・ソフトウェアバージョンについて記載します。

#### 《ハードウェア》

| サーバ型式        | 台数 | iDrac Version |
|--------------|----|---------------|
| VxRail E560F | 4  | 9             |

#### 《ソフトウェア》

| VxRail Version | ESXi         | vCenter Server |
|----------------|--------------|----------------|
| 7.0.300        | 7.0 Update 3 | 7.0 Update 3   |

## 《仮想マシン》

| 仮想マシン名                          | OS/機能               |
|---------------------------------|---------------------|
| WEBSV01                         | CentOS 8            |
| WEBSV02                         | CentOS 8            |
| WEBSV03                         | CentOS 8            |
| APDBSV01                        | Windows Server 2022 |
| APDBSV02                        | Windows Server 2022 |
| VxRail Manager                  | -                   |
| ESRS_VE.x86_64                  | -                   |
| VMware vCenter Server Appliance | -                   |
| VirtuAttendant                  | -                   |

## 《UPS》

| UPS 型式 | SC21 | VirtuAttendant |
|--------|------|----------------|
| ※      | 1.30 | 2.2.0          |

## ※ ご注意 UPS 型式について

お客様環境により、必要な消費電力およびバックアップ時間が異なるため、UPS 型式は、本資料に記載しておりません。お客様毎に必要な UPS をご選定ください。

本構成の目的は、NW カード SC21 のスクリプトシャットダウン機能と仮想化環境専用自動シャットダウンソフト VirtuAttendant (型式: PA10V) で、上記サーバ構成を安全にシャットダウンおよび復電時に自動起動するという構成ですので、NW カード SC21 を挿すことができる UPS であればシャットダウンおよび自動起動は可能です。

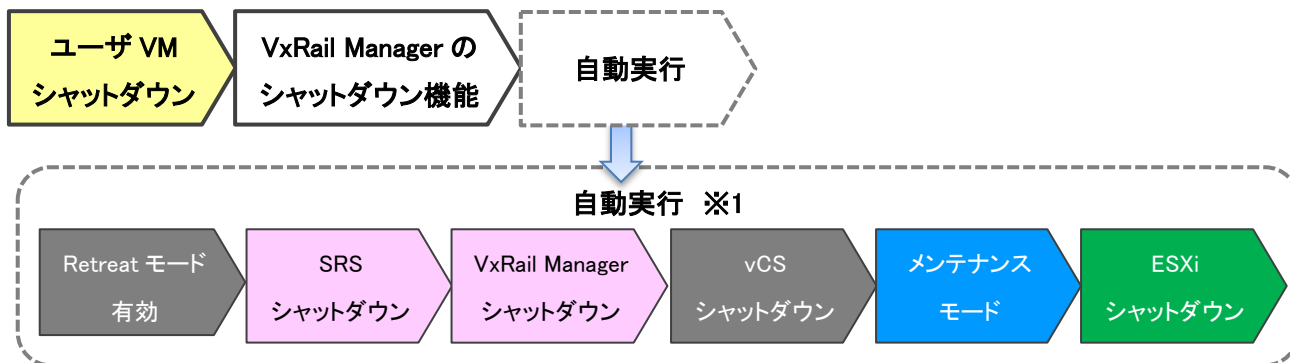


▼VxRail の停止・起動手順

VxRail を安全に停止、起動するためには以下手順に従う必要があります。

《停止手順》

VxRail 環境を安全に停止するためには以下手順に従う必要があります。

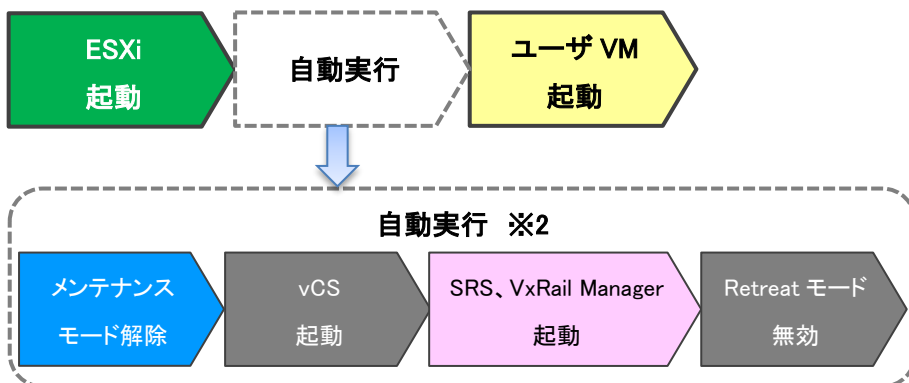


※1 VxRail Manager のシャットダウン機能により、自動実行される処理の全容ではありません。  
 処理の全容については公開されておらず、弊社ではわかりかねますのでその点ご容赦ください。

《起動手順》

VxRail 環境を安全に起動するための手順としては ESXi を起動するのみです。

ESXi を起動するとその他は自動で起動します。vCS 起動後に必要に応じてユーザー VM を起動してください。



※2 ESXi 起動後に自動的に実行されますが、自動実行される処理の全容ではありません。  
 処理の全容については公開されておらず、弊社ではわかりかねますのでその点ご容赦ください。

**▼シャットダウン要件・起動要件**

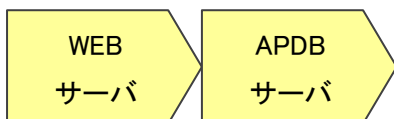
本書におけるシャットダウン要件・起動要件を以下とします。以降は、本要件に基づいた動作、設定を記載します。

※シャットダウン要件と起動要件はお客様環境ごとに異なりますので、本書はその一環境例として記載します。

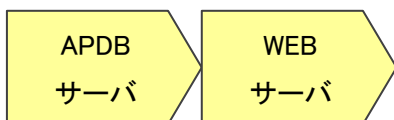
お客様の環境では、お客様のシャットダウン要件と起動要件に合わせて変更してください。

**《シャットダウン要件》**

- ・以下順番でユーザ VM をシャットダウンする必要がある。

**《起動要件》**

- ・以下順番でユーザ VM を起動する必要がある。

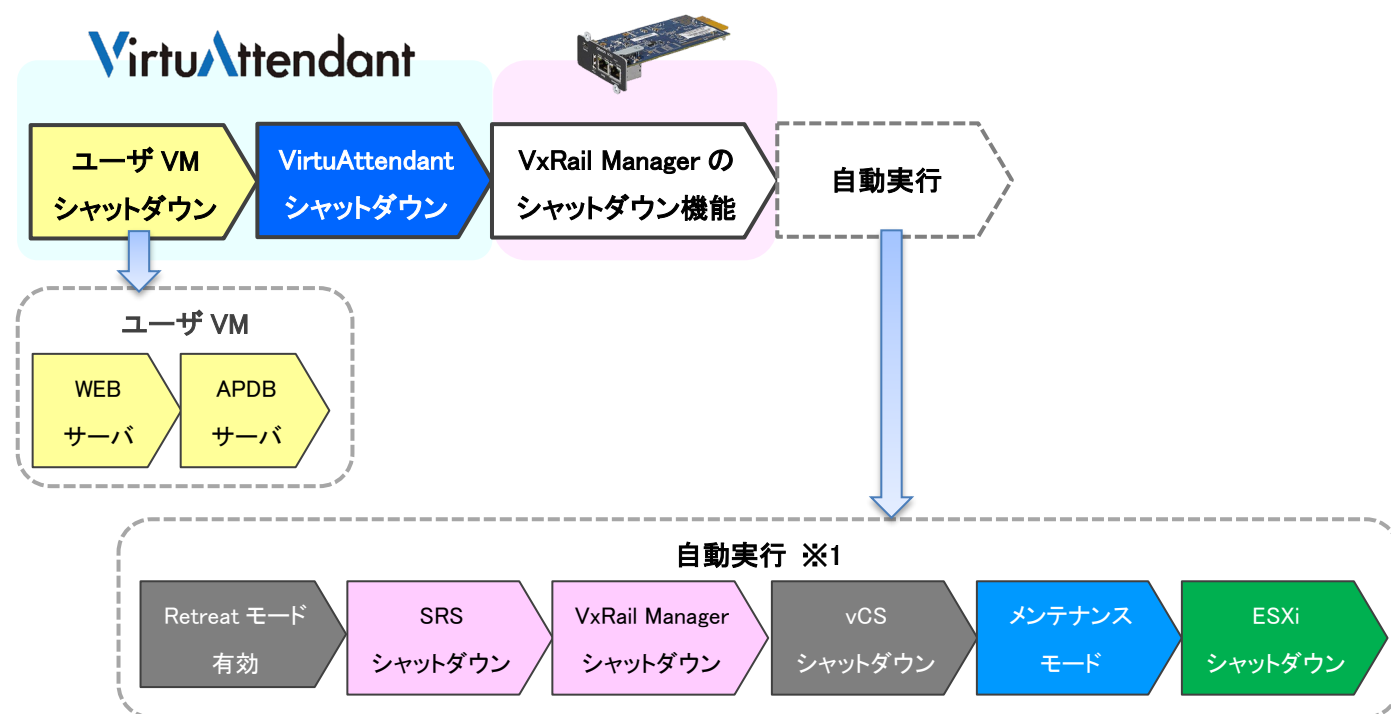


## ■動作シーケンス

停電、復電時の動作シーケンスについて記載します。なお、本項の処理時間および待機時間の値はサンプルです。

### ▼停電時の動作シーケンス

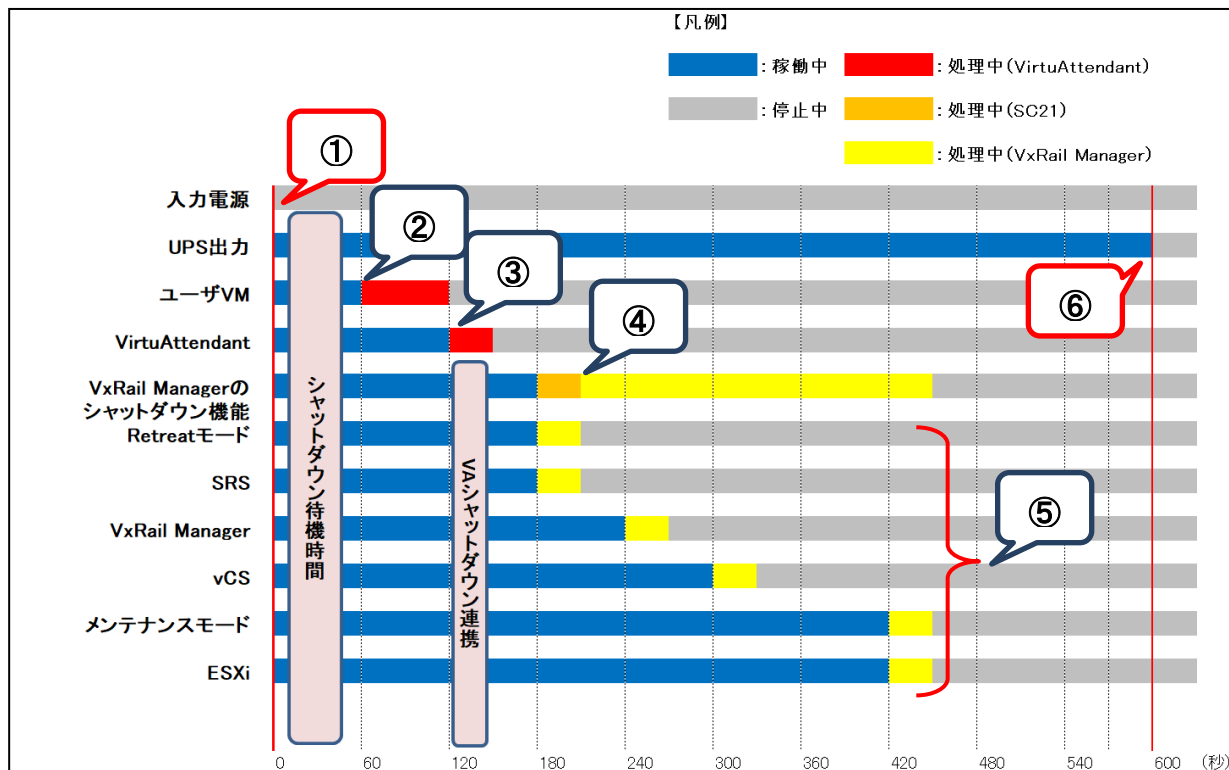
VxRail のお作法である【[VxRail の停止・起動手順](#)】(p.8)と、お客様固有の要件である【[シャットダウン要件・起動要件](#)】(p.9)を、VirtuAttendant と SC21 で実現する場合、以下シーケンスで設定します。ユーザ VM から VirtuAttendant のシャットダウンまでは VirtuAttendant で実施し、VxRail Manager のシャットダウン機能は SC21 で実施します。



※1 VxRail Manager のシャットダウン機能により、自動実行される処理の全容ではありません。

処理の全容については公開されておらず、弊社ではわかりかねますのでその点ご容赦ください。

以下は縦軸をシャットダウン対象および停止処理、横軸を時間とした停電時の動作シーケンスの例です。  
 なお、VirtuAttendant のシャットダウン処理は仮想マシンのパワーオフ状態を確認した後、自動で次の仮想マシンのシャットダウンを開始する(パワーシーケンス機能)ため、下図の経過時間は実際の処理時間ではありません。



《動作シーケンス例の説明》

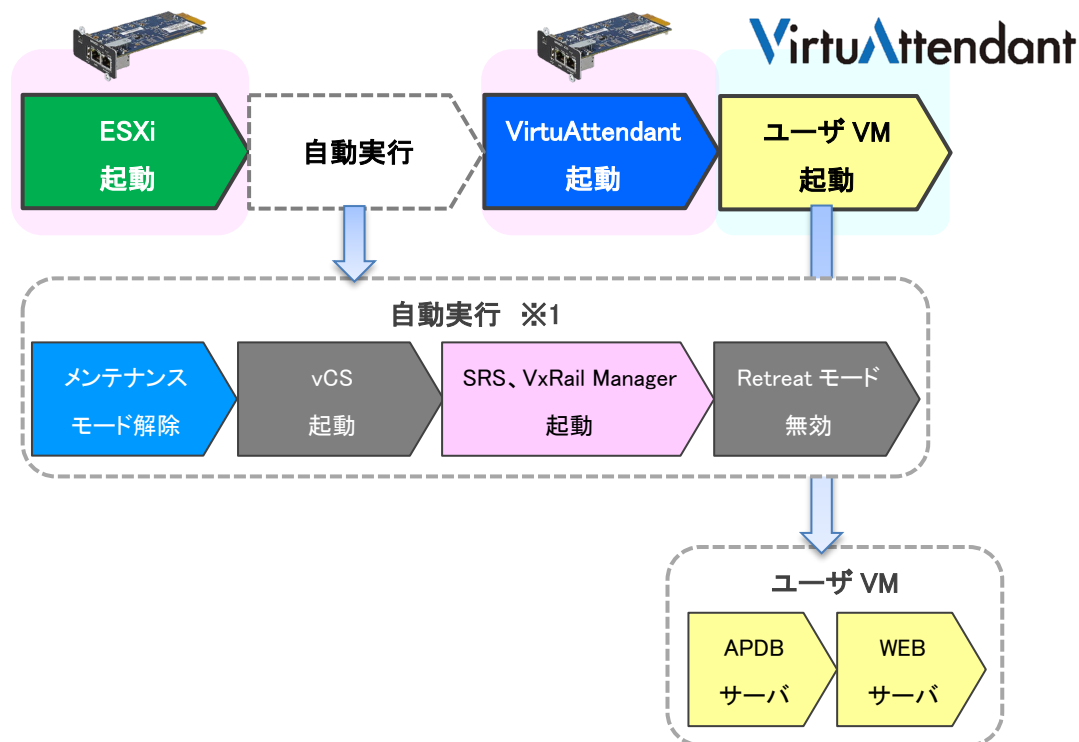
| No. | タイミング                           | 内容  |
|-----|---------------------------------|---|
| ①   | 停電検知                            | SC21 が停電を検知し、VirtuAttendant は SC21 から情報を取得し停電状態を認識します。その後、VirtuAttendant は画面で設定した『待機時間』の間、待機します。(本書では 60 秒間)<br>なお、『待機時間』内に復電した場合は、シャットダウン処理を中断します。 |
| ②   | 停電検知から 60 秒後                    | 『待機時間』を超過したため、シャットダウン処理を開始します。<br>VirtuAttendant は設定した順番でユーザ VM をシャットダウンします。  |
| ③   | VirtuAttendant シャットダウン後         | VirtuAttendant が VirtuAttendant をシャットダウンします。  |
| ④   | VirtuAttendant シャットダウンから 60 秒後  | SC21 が VxRail Manager のシャットダウン機能を実行します。   |
| ⑤   | (同上)                            | VxRail Manager のシャットダウン機能により自動で実行されます。  |
| ⑥   | VirtuAttendant シャットダウンから 480 秒後 | SC21 が UPS を停止します。  |

※ 赤文字の秒数はサンプルですので、お客様環境に合わせて変更してください。  
 実際の構築時に、シャットダウン時間を計測していただいた上で設定してください。

## ▼復電時の動作シーケンス

VxRail のお作法である【VxRail の停止・起動手順】(p.8)とお客様固有の要件である【シャットダウン要件・起動要件】(p.9)を、VirtuAttendant と SC21 で実現する場合、以下シーケンスで設定します。

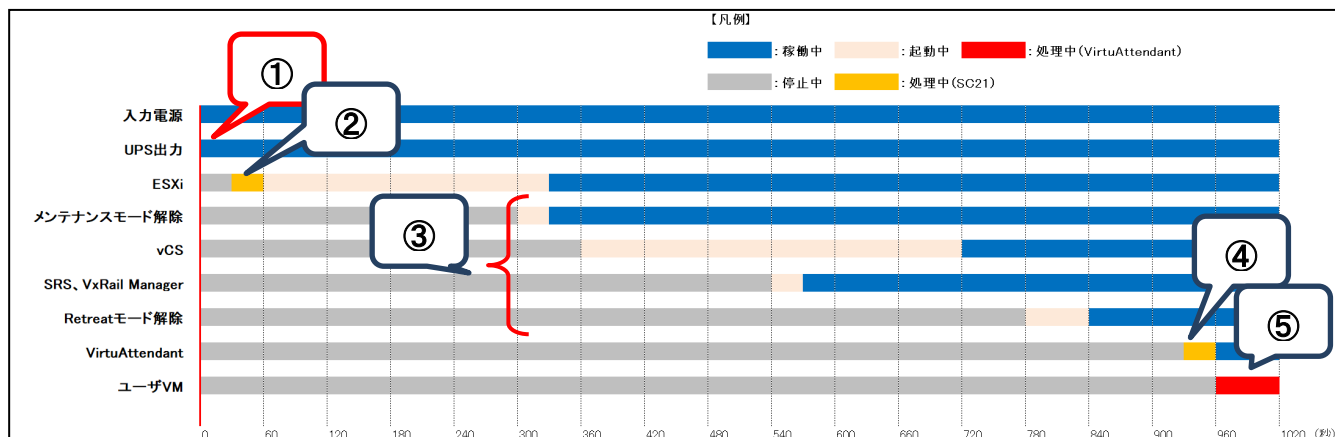
ESXi から VirtuAttendant 起動を SC21 で実施し、ユーザ VM 起動は VirtuAttendant で実施します。



※1 ESXi 起動後に自動的に実行されますが、自動実行される処理の全容ではありません。

処理の全容については公開されておらず、弊社ではわかりかねますのでその点ご容赦ください。

以下は縦軸を起動対象および起動処理、横軸を時間とした復電時の動作シーケンスの例です。



《動作シーケンス例の説明》

| No. | タイミング              | 内容                              |
|-----|--------------------|---------------------------------|
| ①   | 復電検知               | SC21 が復電を検知し、UPS が出力を開始します。     |
| ②   | UPS 起動後から 30 秒後    | SC21 が ESXi を起動します。             |
| ③   | (同上)               | ESXi 起動後に自動で起動します。              |
| ④   | UPS 起動後から 930 秒後   | SC21 が VirtuAttendant を起動します。   |
| ⑤   | VirtuAttendant 起動後 | VirtuAttendant が ユーザ VM を起動します。 |

※ 赤字の秒数はサンプルですので、お客様環境に合わせて変更してください。

実際の構築時に、起動時間を計測していただいた上で設定してください。

## ■VirtuAttendant 設定方法

VirtuAttendant の設定方法について記載します。

### ▼設定概要

本項では、VirtuAttendant の設定ウィザード、グループ設定、優先度設定、除外設定、NW カード設定を行います。

設定ウィザードでは UPS(SC21)、vCenter Server、ESXi の登録を行います。

グループ設定では並列でシャットダウンして良い仮想マシンをグルーピングする設定を行います。

優先度設定では仮想マシンのシャットダウンおよび起動の順番(優先度)を設定します。

除外設定では、VxRail Manager のシャットダウン機能でシャットダウンされる仮想マシンを除外します。

NW カード設定では UPS の停止設定とスクリプト設定を行います。

なお、本項に記載されている設定値はサンプルですので、お客様環境に合わせて変更してください。

### ▼VirtuAttendant のデプロイおよび Web アクセスについて

VirtuAttendant を ESXi にデプロイし、Web ブラウザからアクセスします。

デプロイ方法およびアクセス方法の詳細は取扱説明書 VMware ESXi 編の[2-1 ネットワーク設定](p.4)と

[2-2 Web のログイン設定](p.6)を参照してください。

取扱説明書については、弊社ホームページの以下ページに掲載しています。

ホーム>無停電電源装置(UPS)>製品情報>電源管理ソリューション>VirtuAttendant

[https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products\\_service/ups/product/soft/virtuattendant.html](https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/virtuattendant.html)

以上

### ▼設定ウィザード

Web ブラウザから VirtuAttendant にログインすると、初回に限り『設定ウィザード』ページが自動的に開きます。  
以下の STEP に従って設定します。

#### ・STEP1. ネットワークカード設定

【追加】ボタンを押下し、SC21 の登録画面を開きます。

The screenshot shows the '基本設定' (Basic Settings) wizard. A progress bar at the top indicates the current step is '1 ネットワークカード' (Network Card). Below the progress bar, the title is 'STEP1. ネットワークカード設定' (STEP1. Network Card Setting). The instruction reads: '使用するネットワークカードを追加してください。' (Please add the network card you want to use.). There is a dropdown menu with 'SC21' selected and a blue '追加' (Add) button next to it. Below this is a table with columns: 'ステータス' (Status), 'IPアドレス' (IP Address), '型式' (Model), 'ユーザID' (User ID), and '削除' (Delete). At the bottom right, there is a blue '次へ >' (Next >) button.

SC21 の情報を入力し、【追加】ボタンを押下します。

The screenshot shows a dialog box titled 'ネットワークカード追加' (Add Network Card). It contains several input fields, all of which are marked with a red asterisk as required items. The fields are: 'IPアドレス \*:' (192.168. [redacted]), 'ユーザID \*:' (OMRON), 'パスワード \*:' (masked with dots), 'コミュニティ \*:' (public), 'SNMP Port \*:' (161), 'http分類 \*:' (radio buttons for http and https, with http selected), and 'http(s) Port \*:' (80). At the bottom of the dialog, there are two buttons: a blue '追加' (Add) button and a grey 'キャンセル' (Cancel) button.



SC21 の登録完了後、【次へ】ボタンを押下します。

基本設定

1 ネットワークカード 2 UPS 3 管理ソフト 4 停止優先度 5 起動優先度 6 確認 7 完了

### STEP1. ネットワークカード設定

使用するネットワークカードを追加してください。

SC21 追加

| ステータス | IPアドレス              | 型式   | ユーザID | 削除 |
|-------|---------------------|------|-------|----|
| ✓     | 192.168. [REDACTED] | SC21 | OMRON | 削除 |

次へ >

#### ・STEP2. UPS 設定

SC21 の『シャットダウン動作』と、VirtuAttendant のシャットダウン処理開始までの『待機時間』を設定します。ここで設定した『シャットダウン動作』および『待機時間』は、SC21 の『シャットダウン設定』へ自動的に反映されます。設定完了後、【次へ】ボタンを押下します。

基本設定

1 ネットワークカード 2 UPS 3 管理ソフト 4 停止優先度 5 起動優先度 6 確認 7 完了

### STEP2. UPS設定

UPSの各種設定を行ってください。  
各種設定の内容は、STEP1で設定したネットワークカードすべてに反映されます。  
当設定を行うと接続されている全てのネットワークカードの設定が統一されます。

\*: 必須項目

#### NWカード側設定

シャットダウン動作 \*

警告

#### VirtuAttendant側設定

待機時間 \*

60 (秒)

停止条件

UPS1台中、1台が入力電源異常になったら、待機時間経過後にシャットダウンを開始する。

戻る 次へ >

以下は、本構成のシャットダウンに使用する『STEP2. UPS 設定』の設定例です。

| シャットダウン動作 | 待機時間 | 停止条件 |
|-----------|------|------|
| 警告        | 60   | 1    |

## STEP3. 管理ソフト設定

管理ソフト(vCS、ESXi)の情報を登録します。

設定ウィザード完了後、SC21 の『スクリプトシャットダウン』にメンテナンスモード切り替えと ESXi をシャットダウンするスクリプトが自動的に設定されます。

詳細は[▼NW カード設定](p.34)を参照ください。

『構成』から『SimpliVity/vSAN/3Tier/他』を選択します。

基本設定

1 ネットワークカード 2 UPS 3 管理ソフト 4 停止優先度 5 起動優先度 6 確認 7 完了

STEP3. 管理ソフト設定

使用している構成を選択し、管理ソフトのホスト名、ID、パスワードを入力してください。  
\*: 必須項目

構成 \*

Nutanix AHV  
Nutanix ESXi  
SimpliVity/vSAN/3Tier/他

< 戻る

管理ソフト(vCS)の情報を入力し【接続】ボタンを押下します。

※ IP アドレス・ユーザ ID・パスワード等の情報はご使用の環境に合わせて入力してください。

基本設定

1 ネットワークカード 2 UPS 3 管理ソフト 4 停止優先度 5 起動優先度 6 確認 7 完了

STEP3. 管理ソフト設定

使用している構成を選択し、管理ソフトのホスト名、ID、パスワードを入力してください。  
\*: 必須項目

構成 \* SimpliVity/vSAN/3Tier/他

ターゲット vCSA

IPアドレス/  
ホスト名 \* 192.168. [redacted]

https Port \* 443

ユーザID \* administrator@vsphere.local

パスワード \* [masked]

説明

接続

< 戻る

管理ソフト(ESXi)の情報を入力し【次へ】ボタンを押下します。

『全ターゲットに同じユーザID/パスワード設定にする』にチェックを入れた状態で『ESXi 1』のユーザIDとパスワードを入力すると、『ESXi 2』と『ESXi3』と『ESXi4』のユーザIDとパスワードに『ESXi 1』で入力したユーザIDとパスワードが自動入力されます。

※ IP アドレス・ユーザID・パスワード等の情報はご使用の環境に合わせて入力してください。

The screenshot displays the configuration page for ESXi targets. At the top, there is a password field and a description field. A checkbox labeled "全ターゲットに同じユーザID/パスワード設定にする" is checked and highlighted with a red box. Below this, there are three columns of settings for targets ESXi 1, ESXi 2, and ESXi 3. Each column includes fields for IP address/host name, SSH port, user ID, and password. The user ID and password fields for ESXi 1 are highlighted with a red box. At the bottom of the page, there are two buttons: "戻る" (Back) on the left and "次へ" (Next) on the right, with the "次へ" button highlighted by a red box.

#### ・STEP4. 停止優先度設定

停止優先度設定の画面が表示されるので、画面最下部の『VirtuAttendant の特定』を設定します。

プルダウンで表示される仮想マシンから VirtuAttendant を選択し、【次へ】ボタンを押下します。

※ 優先度は後項の[▼優先度設定]で設定します。

**基本設定**

1 ネットワークカード   
 2 UPS   
 3 管理ソフト   
 4 停止優先度   
 5 起動優先度   
 6 確認   
 7 完了

### STEP4. 停止優先度設定

停止優先度を設定してください。  
仮想マシンの停止優先度は、グループ設定でグループリングすることが可能です。

**\* : 必須項目**

| 仮想マシン・グループ名                     | 説明 | タイムアウト時間* | 行削除 |
|---------------------------------|----|-----------|-----|
| VxRail Manager                  |    | 5 (min)   |     |
| WEBSV01                         |    | 5 (min)   |     |
| APDBSV01                        |    | 5 (min)   |     |
| WEBSV02                         |    | 5 (min)   |     |
| WEBSV03                         |    | 5 (min)   |     |
| APDBSV02                        |    | 5 (min)   |     |
| ESRS_VE_x86_64                  |    | 5 (min)   |     |
| VMware vCenter Server Appliance |    | 5 (min)   |     |

**【VirtuAttendantの特定】\***

VirtuAttendantを選択ください。  
vCSAから取得した仮想マシン一覧からVirtuAttendantを特定する設定になります。  
この設定が誤っている場合、シャットダウン時にシステムを正常にシャットダウンできません。  
グループに登録されている仮想マシンは表示されません。  
以下で選択した仮想マシンは上記の仮想マシン・グループ名一覧には表示されません。

VirtuAttendant

戻る   
 次へ

## STEP5. 起動優先度設定

起動優先度設定の画面が表示されるので、【次へ】ボタンを押下します。

※ 優先度は後項の[▼優先度設定]で設定します。

基本設定

1 ネットワークカード   2 UPS   3 管理ソフト   4 停止優先度   5 起動優先度   6 確認   7 完了

### STEP5. 起動優先度設定

起動優先度を設定してください。  
仮想マシンの起動優先度は、グループ設定でグルーピングすることが可能です。

\*: 必須項目

| 仮想マシン・グループ名    | 説明 | 処理時間*   | 行削除 |
|----------------|----|---------|-----|
| VxRail Manager |    | 2 (min) |     |
| WEBSV01        |    | 2 (min) |     |
| APDBSV01       |    | 2 (min) |     |
| WEBSV02        |    | 2 (min) |     |
| WEBSV03        |    | 2 (min) |     |
| APDBSV02       |    | 2 (min) |     |
| ESRS_VE.x86_64 |    | 2 (min) |     |

< 戻る   **次へ >**

## ・STEP6. 確認

設定内容を確認します。画面最下部の『NW カード設定-VA・vCSA の起動オプション』から『VA 起動コマンドを追加する』を選択し、【完了】ボタンを押下します。

基本設定

1 ネットワークカード 2 UPS 3 管理ソフト 4 停止優先度 5 起動優先度 6 確認 7 完了

### STEP6. 確認

設定内容を確認し、問題がなければ「完了」ボタンを押してください。

#### STEP1. ネットワークカード設定

| IPアドレス              | 型式   | ユーザID |
|---------------------|------|-------|
| 192.168. [REDACTED] | SC21 | OMRON |

#### STEP5. 起動優先度設定

| 仮想マシン・グループ名    | 説明 | 処理時間    |
|----------------|----|---------|
| VxRail Manager |    | 2 (min) |
| WEBSV01        |    | 2 (min) |
| APDBSV01       |    | 2 (min) |
| WEBSV02        |    | 2 (min) |
| WEBSV03        |    | 2 (min) |
| APDBSV02       |    | 2 (min) |
| ESRS_VE.x86_64 |    | 2 (min) |

#### NWカード設定-VA・vCSAの起動オプション

NWカード設定-スクリプトにVA・vCSAの起動コマンドが追加できます

VA起動コマンドを追加する

vCSA起動コマンドを追加する

VA・vCSA起動コマンドを追加する

< 戻る 完了

下へスクロール

確認画面が表示されるので【OK】ボタンを押下します。



#### ・STEP7. 完了

完了画面が表示されます。



### ▼グループ設定

本項では、仮想マシンをグルーピングする設定を行います。

シャットダウン、および起動を並列で実行したい仮想マシンを同じグループに登録します。

画面左側のメニューから『グループ設定』-『グループ登録』を選択します。



【グループ登録】ボタンを押下します。

グループ登録

グループ化したい仮想マシンを選択し、「グループ登録」ボタンを押下してください。

|                          | 仮想マシン名         | 説明 |
|--------------------------|----------------|----|
| <input type="checkbox"/> | APDBSV01       |    |
| <input type="checkbox"/> | APDBSV02       |    |
| <input type="checkbox"/> | ESRS_VE.x86_64 |    |
| <input type="checkbox"/> | VxRail Manager |    |
| <input type="checkbox"/> | WEBSV01        |    |
| <input type="checkbox"/> | WEBSV02        |    |
| <input type="checkbox"/> | WEBSV03        |    |



グループの登録方法としては3つの方法があります。

| 種類    | 説明   |
|-------|--|
| 手動    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに所属させたい仮想マシンを手動で選択し、グループを作成します。</li> <li>・運用開始後に、新規作成された仮想マシンをこのグループに所属させたい場合は、手動で追加する必要があります。</li> </ul>  |
| 自動    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮想マシン名を条件に仮想マシンを自動でグループに所属させます。</li> <li>・新規作成された仮想マシンが、作成したグループの仮想マシン名の条件に該当する場合、自動でグループに振り分けられます。</li> <li>・グループへの振り分け対象は、グループに所属していない仮想マシンです。</li> <li>・既にグループに登録済みの仮想マシンは、自動振り分けの対象外です。既にグループに登録済みの仮想マシン名を変更した場合、その仮想マシン名が異なるグループの自動振り分け条件に該当したとしても、所属しているグループから移動しません。</li> </ul> |
| デフォルト | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに所属していない仮想マシンを無条件に自動でグループに所属させます。Active Directory サーバなど一番最後にシャットダウンする仮想マシンが決まっていて、新規作成された仮想マシンを無条件に、一番最後の仮想マシンの一つ手前にしたい場合などに有効です。</li> </ul>   |

複数の自動グループを設定した、または自動グループとデフォルトグループを組み合わせで設定した際、ある仮想マシン名が複数の自動振り分け条件に該当する場合、『グループ一覧』画面の上から順に仮想マシンを振り分けます。本書では、自動グループのみを作成した例になります。

任意のグループ名を入力し、『条件設定』で『自動』を選択します。

『仮想マシン名』には、自動で振り分けたい仮想マシンの、仮想マシン名の一部を入力します。

仮想マシン名に対して部分一致で条件に合致するか判断します。(前方一致や後方一致ではありません)

グループ登録 ×

**\*: 必須項目**

グループ名\*:

説明:

条件設定:

---

自動化ルール

各条件はANDで判定されます

仮想マシン名:

本書では以下グループを作成しました。

| グループ名  | 条件設定 | 仮想マシン名 |
|--------|------|--------|
| APDB-G | 自動   | APDB   |
| WEB-G  | 自動   | WEB    |

『グループ登録』画面で登録後、『グループ一覧』画面を開きます。

必要に応じて、ドラッグ&ドロップでグループの優先度を変更します。問題なければ【保存】ボタンを押下します。

グループ一覧

対象のグループをドラッグ&ドロップすることで、順序を入れ替えることができます。  
グループ自動追加が行われる際に複数の条件に該当した場合、このリストの上位にあるグループに追加されます。

| グループ名  | 説明 | 条件設定 | 編集  |
|--------|----|------|---|
| APDB-G |    | 自動設定 | <input type="button" value="グループ編集"/> <input type="button" value="グループ詳細"/> <input type="button" value="削除"/> |
| WEB-G  |    | 自動設定 | <input type="button" value="グループ編集"/> <input type="button" value="グループ詳細"/> <input type="button" value="削除"/> |

【はい】ボタンを押下します。

保存
×

現状、グループに参加していない仮想マシンを、設定に従って、グループに登録しますか。  
 「はい」:グループ間の優先度の保存とグループに参加していない仮想マシンの登録  
 「いいえ」:グループ間の優先度の保存のみ

はい
いいえ

※ 【はい】を押下していない場合でも、以下タイミングでグループに所属していない仮想マシンを自動で振り分けます。

- ・ノード一覧に遷移した
- ・ノード一覧の【リフレッシュ】ボタンを押下した
- ・入力電源異常が発生しシャットダウン処理を開始した(待機時間経過後)

『グループ一覧』画面で『グループ詳細』ボタンを押下すると、グループに所属している仮想マシンを確認できます。

### グループ詳細

グループ名 : APDB-G

\*: 必須項目

停止優先度設定
起動優先度設定

| 優先度* | 仮想マシン名   | 説明 | タイムアウト時間* | 削除   |
|------|----------|----|-----------|--|
| 1    | APDBSV01 |    | 5 (min)   | <span style="color: red; font-weight: bold;">削除</span> |
| 1    | APDBSV02 |    | 5 (min)   | <span style="color: red; font-weight: bold;">削除</span> |

仮想マシン追加

保存
グループ削除
一覧に戻る

## ▼除外設定

VxRail Manager のシャットダウン機能でシャットダウンされる SRS、vCS、VxRail Manager を VirtuAttendant のシャットダウン対象から除外する設定を行います。

画面左側のメニューから『ノード一覧』を選択します



『仮想マシン』タブを選択します。

The screenshot shows the 'ノード一覧' (Node List) page. At the top, there are tabs for '全部', 'UPS', '仮想マシン', '管理ソフト', '物理サーバ', 'その他', and '除外ノード'. The '仮想マシン' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there are icons for 'UPS', '仮想マシン', '物理サーバ', '管理ソフト', and 'その他'. A legend indicates: green checkmark for '正常' (Normal), yellow triangle for '警告' (Warning), red exclamation mark for '異常' (Abnormal), and blue question mark for '不明' (Unknown). Below the legend, there is a button for '一括削除・除外' (Batch Delete/Exclude) with a subtext 'チェックをつけたノードを一括削除・除外します'. The main content is a table with the following columns: 'タイプ' (Type), 'ステータス' (Status), '名前' (Name), 'IPアドレス/ホスト名' (IP Address/Host Name), '説明' (Description), '編集' (Edit), and 'リンク' (Link). The table contains 8 rows of data, all with a status of '正常' (Normal). The '名前' column contains: 'BL75T', 'APDBSV01', 'APDBSV02', 'ESRS\_VE.x86\_64', 'VMware vCenter Server Appliance', 'VxRail Manager', 'WEBSV01', and 'WEBSV02'. The 'IPアドレス/ホスト名' column contains: '192.168.███', '192.168.███', '192.168.███', '192.168.███', '192.168.███', '192.168.███', and two empty cells. The '編集' column contains '編集' and '削除' buttons. The 'リンク' column contains 'NWカード画面へ'.

| タイプ | ステータス | 名前                              | IPアドレス/ホスト名 | 説明 | 編集    | リンク      |
|-----|-------|---------------------------------|-------------|----|-------|----------|
|     | 正常    | BL75T                           | 192.168.███ |    | 編集 削除 | NWカード画面へ |
|     | 正常    | APDBSV01                        | 192.168.███ |    | 編集 除外 |          |
|     | 正常    | APDBSV02                        | 192.168.███ |    | 編集 除外 |          |
|     | 正常    | ESRS_VE.x86_64                  | 192.168.███ |    | 編集 除外 |          |
|     | 正常    | VMware vCenter Server Appliance | 192.168.███ |    | 編集 除外 |          |
|     | 正常    | VxRail Manager                  | 192.168.███ |    | 編集 除外 |          |
|     | 正常    | WEBSV01                         |             |    | 編集 除外 |          |
|     | 正常    | WEBSV02                         |             |    | 編集 除外 |          |

SRS、vCS、VxRail Mangaer にチェックを入れ【一括削除・除外】ボタンを押下します。

ノード一覧

全部 UPS 仮想マシン 管理ソフト 物理サーバ その他 除外ノード

UPS : UPS 仮想マシン : 仮想マシン 物理サーバ : 物理サーバ 管理ソフト : 管理ソフト その他 : その他

正常 : 正常 警告 : 警告 異常 : 異常 不明 : 不明

一括削除・除外

チェックをつけたノードを一括削除・除外します

| タイプ                                 | ステータス | 名前                              | IPアドレス/ホスト名 | 説明 | 編集    | リンク |
|-------------------------------------|-------|---------------------------------|-------------|----|-------|-----|
| <input type="checkbox"/>            | ✓     | APDBSV01                        | 192.168.██  |    | 編集 除外 |     |
| <input type="checkbox"/>            | ✓     | APDBSV02                        | 192.168.██  |    | 編集 除外 |     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ✓     | ESRS_VE.x86_64                  | 19.168.██   |    | 編集 除外 |     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ✓     | VMware vCenter Server Appliance | 19.168.██   |    | 編集 除外 |     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ✓     | VxRail Manager                  | 19.168.██   |    | 編集 除外 |     |
| <input type="checkbox"/>            | ✓     | WEBSV01                         |             |    | 編集 除外 |     |
| <input type="checkbox"/>            | ✓     | WEBSV02                         |             |    | 編集 除外 |     |
| <input type="checkbox"/>            | ✓     | WEBSV03                         |             |    | 編集 除外 |     |

リフレッシュ 追加

確認画面が表示されるので【OK】ボタンを押下します。

一括削除・除外

選択したノードを削除・除外します。  
よろしいですか？

OK キャンセル

『除外ノード』タブを選択し、除外した SRS、vCS、VxRail Manager が表示されていることを確認します。




ノード一覧

ノードの除外が完了しました。

UPS 仮想マシン 物理サーバ 管理ソフト その他  
正常 警告 異常 不明

全部 UPS 仮想マシン 管理ソフト 物理サーバ その他 除外ノード

一括戻し チェックをつけたノードを一括で元に戻します

| <input type="checkbox"/> | タイプ   | 名前                              | IPアドレス/ホスト名 | 説明 | 編集      |
|--------------------------|---|---------------------------------|-------------|----|---------|
| <input type="checkbox"/> |  | ESRS_VE.x86_64                  | 192.168.██  |    | 元に戻す 削除 |
| <input type="checkbox"/> |  | VMware vCenter Server Appliance | 192.168.██  |    | 元に戻す 削除 |
| <input type="checkbox"/> |  | VxRail Manager                  | 192.168.██  |    | 元に戻す 削除 |

リフレッシュ 追加

### ▼優先度設定

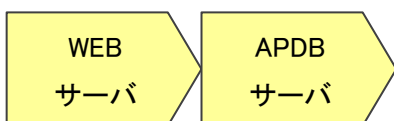
仮想マシンをシャットダウン・起動する順番(優先度)を設定します。

なお、仮想マシンのシャットダウンには VMware Tools が必要です。あらかじめ VMware Tools のインストールとサービスの起動を行ってください。

#### ・停止優先度設定

仮想マシンのシャットダウンや停止時に実行するスクリプトの優先度を設定します。

本構成では以下の順番でシャットダウンするように優先度を設定します。



画面左側のメニューから『優先度設定』を展開し、『停止優先度設定』を選択します。



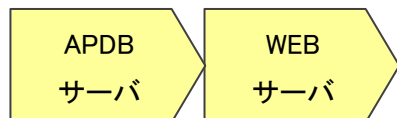




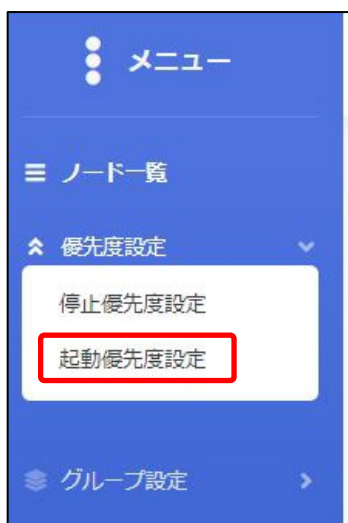
### ・起動優先度設定

仮想マシンの起動や起動時に実行するスクリプトの優先度を設定します。

本構成では以下の順番で起動するように優先度を設定します。



画面左側のメニューから『優先度設定』を展開し、『起動優先度設定』を選択します。





### ▼NW カード設定

VirtuAttendant のメニュー『NW カード設定』から、SC21 側の機能『シャットダウン設定』・『VA シャットダウン設定』・『スクリプト設定』の設定を行います。

#### ・シャットダウン設定

画面左側のメニューから『NW カード設定』を展開し、『シャットダウン設定』を選択します。



設定画面の②③の設定完了後、画面左下の【保存】ボタンを押下します。

なお、①の項目は VirtuAttendant の設定ウィザード(STEP2. UPS 設定)で設定した内容が反映されます。

### 《設定画面》

NWカード設定 : シャットダウン設定

| イベント         | シャットダウン動作           | 待機時間 (秒) | 初回警告 (秒) | 警告間隔 (秒) |
|--------------|---------------------|----------|----------|----------|
| 入力電源異常 ①     | 警告                  | 60       | 30       | 30       |
| バッテリーロー      | クライアントシャットダウン       | 60       | 30       | 30       |
| 接続容量オーバー     | 無効                  | 0        | 30       | 30       |
| 温度設定オーバー     | 無効                  | 180      | 30       | 30       |
| スケジュール (毎週)  | クライアントシャットダウン/UPS停止 | 600      | 0        | 60       |
| スケジュール (指定日) | クライアントシャットダウン/UPS停止 | 600      | 0        | 60       |

UPS出力停止時間 (※1)

出力コンセントA (秒) 480

出力コンセントB (秒) 480 (※2)

出力コンセントC (秒) 480 (※2)

入力電源復電時のUPS再起動 ③ する

入力電源復電時のUPS再起動条件設定 無効

バッテリー容量 (%) 0

UPS起動遅延時間 (秒) 1

UPS出力開始遅延時間

出力コンセントA (秒) 0

出力コンセントB (秒) 0 (※2)

出力コンセントC (秒) 0 (※2)

(※1) スクリプト設定の条件 (「VAシャットダウン」または「シャットダウン」) の「スクリプト待機時間 (秒)」の設定値を超えた値を設定してください。

(※2) 出力コンセント制御機能を搭載したUPS以外は設定を反映しません。

保存

### 《設定項目説明》

- ① 入力電源異常が発生したときの UPS の動作です。VirtuAttendant からのシャットダウン命令によって UPS を停止させるため、『警告』または『無効』を選択します。
- ② UPS が停止するまでの時間(秒)を選択します。本構成が全てシャットダウンするまでに要する時間を考慮して設定する必要があります。下限は『0』、上限は『1800』です。
- ③ UPS が停電による停止後、復電時に自動起動『する』または『しない』を選択します。

### 《設定値》

以下は、本構成のシャットダウンに使用する『シャットダウン設定』の設定例です。

| UPS 出力停止時間   |     | 入力電源復電時の UPS 再起動 |
|--------------|-----|------------------|
| 出力コンセント A(秒) | 480 | する               |

## ・スクリプト設定

画面左側のメニューから『NW カード設定』を展開し、『スクリプト設定』を選択します。



設定画面の①②③の設定完了後、画面を右へスクロールします。

### 《設定画面》

NWカード設定：スクリプト設定

| No. | IPアドレス               | 出力コンセント選択  | ②<br>プロトコル | ③<br>条件   | ①<br>ログインID 1        | ①<br>パスワード 1             | ログインID 2             | パスワード 2                  | 再接 |
|-----|----------------------|------------|------------|-----------|----------------------|--------------------------|----------------------|--------------------------|----|
| 1   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |
| 2   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |
| 3   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |
| 4   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |
| 5   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |
| 6   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |
| 7   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |
| 8   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |
| 9   | <input type="text"/> | 出力コンセントA ▼ | 無効 ▼       | シャットダウン ▼ | <input type="text"/> | <input type="password"/> | <input type="text"/> | <input type="password"/> | 5  |

保存

右へスクロール

### 《設定項目説明》

- ① スクリプト実行対象機器への接続情報(『IP アドレス』、『ログイン ID』、『パスワード』)を設定します。
- ② スクリプト実行対象機器への接続プロトコルを選択します。選択可能なプロトコルは『Telnet』と『SSH』です。
- ③ スクリプトを実行する条件を選択します。本構成では、『VA シャットダウン』を選択します。  
復電時にスクリプトを実行させたい場合は『入力電源復電』を選択します。

④⑤の設定完了後、画面下部の【保存】ボタンを押下します。

《設定画面》

NWカード設定：スクリプト設定

| ド1 | ログインID2 | パスワード2 | 再接続回数 | コマンドタイムアウト (秒) | スクリプト待機時間 (秒) | スクリプトNo. | スクリプト内容 |
|----|---------|--------|-------|----------------|---------------|----------|---------|
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |
|    |         |        | 5     | 10             | 0             | 1        | Windows |

保存

《設定項目説明》

- ④ スクリプトが実行されるまでの待機時間(秒)を設定します。ただし、前項の『シャットダウン設定』で設定した『UPS 出力停止時間』を超える値は設定できません。そのため、設定値の下限と上限は以下です。
- ・下限：『0』
  - ・上限：『UPS 出力停止時間』で設定した値 ※『UPS 出力停止時間』は『1800』まで設定可能です。
- ⑤ スクリプト実行対象機器で実行するスクリプトを設定します。プリセットのスクリプトを使用するか、新規にスクリプトを作成してください。

※ No.順にスクリプトは発行されません。発行のタイミングは④の『スクリプト待機時間(秒)』の設定に依存します。

### 《設定値》

以下は、本構成のシャットダウンに使用する『スクリプトシャットダウン』の設定例です。

スクリプトの内容については、後述のスクリプト内容一覧を参照してください。

No.21～No.36 は VirtuAttendant の設定ウィザード完了後、VirtuAttendant が SC21 に自動で設定するスクリプトですが、No.21～No.32 は VxRail の機能で自動実行してくれるため『無効』に変更してください。

なお、スクリプト待機時間の赤字部分はお客様環境によって可変する値です。サンプルとして記載していますのでお客様環境に合わせて変更してください。

| No. | 宛先(IP アドレス)       | プロトコル | 条件         | ... | スクリプト待機時間 | スクリプト No | スクリプト名称                   |
|-----|-------------------|-------|------------|-----|-----------|----------|---------------------------|
| 1   | VxRail Manager ※1 | SSH   | VA シャットダウン |     | 60        | スクリプト 20 | VxRail-CIShutdown         |
| 2   | iDrac #1          | SSH   | 入力電源復電     |     | 30        | スクリプト 21 | iDrac-PowerON             |
| 3   | iDrac #2          | SSH   | 入力電源復電     |     | 30        | スクリプト 21 | iDrac-PowerON             |
| 4   | iDrac #3          | SSH   | 入力電源復電     |     | 30        | スクリプト 21 | iDrac-PowerON             |
| 5   | iDrac #4          | SSH   | 入力電源復電     |     | 30        | スクリプト 21 | iDrac-PowerON             |
| 21  | ESXi #1 ※2        | SSH   | 無効         |     | 0         | スクリプト 13 | ESXi Maintenance Mode ON  |
| 22  | ESXi #2 ※2        | SSH   | 無効         |     | 30        | スクリプト 13 | ESXi Maintenance Mode ON  |
| 23  | ESXi #3 ※2        | SSH   | 無効         |     | 60        | スクリプト 13 | ESXi Maintenance Mode ON  |
| 24  | ESXi #4 ※2        | SSH   | 無効         |     | 90        | スクリプト 13 | ESXi Maintenance Mode ON  |
| 25  | ESXi #1 ※2        | SSH   | 無効         |     | 180       | スクリプト 4  | ESXi Host                 |
| 26  | ESXi #2 ※2        | SSH   | 無効         |     | 180       | スクリプト 4  | ESXi Host                 |
| 27  | ESXi #3 ※2        | SSH   | 無効         |     | 180       | スクリプト 4  | ESXi Host                 |
| 28  | ESXi #4 ※2        | SSH   | 無効         |     | 180       | スクリプト 4  | ESXi Host                 |
| 29  | ESXi #1 ※2        | SSH   | 無効         |     | 600       | スクリプト 14 | ESXi Maintenance Mode OFF |
| 30  | ESXi #2 ※2        | SSH   | 無効         |     | 600       | スクリプト 14 | ESXi Maintenance Mode OFF |
| 31  | ESXi #3 ※2        | SSH   | 無効         |     | 600       | スクリプト 14 | ESXi Maintenance Mode OFF |
| 32  | ESXi #4 ※2        | SSH   | 無効         |     | 600       | スクリプト 14 | ESXi Maintenance Mode OFF |
| 33  | ESXi #1 ※2, 3     | SSH   | 入力電源復電     |     | 930       | スクリプト 17 | ESXi VA Start             |
| 34  | ESXi #2 ※2, 3     | SSH   | 入力電源復電     |     | 930       | スクリプト 17 | ESXi VA Start             |
| 35  | ESXi #3 ※2, 3     | SSH   | 入力電源復電     |     | 930       | スクリプト 17 | ESXi VA Start             |
| 36  | ESXi #4 ※2, 3     | SSH   | 入力電源復電     |     | 930       | スクリプト 17 | ESXi VA Start             |

※1 VxRail Manager に対するコマンドは、root ユーザでログインできないため、mystic ユーザでログインし、その後 root ユーザに切り替えて実行しています。

※2 VirtuAttendant の設定ウィザード(STEP3. 管理ソフト設定)で設定した ESXi の接続情報が設定されます。

※3 VirtuAttendant の設定ウィザード(STEP6. 確認)で『VA 起動コマンドを追加する』または『VA・vCSA 起動コマンドを追加する』を選択すると設定されます。接続情報は、VirtuAttendant の設定ウィザード(STEP3. 管理ソフト設定)で設定した ESXi の接続情報が設定されます。



### ≪スクリプト内容一覧≫

以下は、停電時のシャットダウンに使用するスクリプトの設定例です。

p.38 に記載された No.1 のスクリプトが対象です。

本頁のスクリプト No.は、p.38 のスクリプト No.に紐づいています。

プリセットは SC21 にデフォルトでセットされているスクリプトで、新規作成は本ドキュメントを参考にお客様で作成する必要があるスクリプトです。

なお、スクリプト内容の赤文字部分はお客様環境によって可変する値です。サンプルとして記載していますのでお客様環境に合わせて変更してください。

| スクリプト No. | 用途                          | プリセット or 新規作成 | スクリプト名称           | スクリプト内容  |
|-----------|-----------------------------|---------------|-------------------|--|
| 1         | VxRail Manager の シャットダウン 機能 | 新規作成          | VxRail-CIShutdown | <pre>rcv=login: snd=\$u1 rcv&gt;Password: snd=\$p1 rcv=&gt; snd=\$u2 rcv&gt;Password: snd=\$p2 rcv=# snd=curl -k --user "administrator@vsphere.local:*****" --request POST "https://192.168.***.*/rest/vxm/v1/cluster/shutdown" --header "Content-Type: application/json" -- data '{"dryrun":false}'</pre> |

以下は、復電時の起動に使用するスクリプトの設定例です。

p.38 に記載された No.2～5、No.33～No.46 が対象です。

本頁のスクリプト No.は、p.38 のスクリプト No.に紐づいています。

プリセットは SC21 にデフォルトでセットされているスクリプトで、新規作成は本ドキュメントを参考にお客様で作成する必要があるスクリプトです。

なお、スクリプト内容の赤文字部分はお客様環境によって可変する値です。サンプルとして記載していますのでお客様環境に合わせて変更してください。

| スクリプト No. | 用途                | プリセット or 新規作成 | スクリプト名称           | スクリプト内容   |
|-----------|-------------------|---------------|-------------------|---|
| 20        | ESXi 起動           | 新規作成          | iDrac-<br>PowerON | rcv=login:<br>snd=\$u1<br>rcv=Password:<br>snd=\$p1<br>rcv=><br>snd=racadm serveraction powerup   |
| 17        | VirtuAttendant 起動 | プリセット         | ESXi VA<br>Start  | rcv=login:<br>snd=\$u1<br>rcv=Password<br>snd=\$p1<br>rcv=]<br>snd=VM="VirtuAttendant";vim-cmd<br>vmsvc/getallvms   grep "\$VM"   vim-cmd<br>vmsvc/power.on `awk '{print \$1}'` |

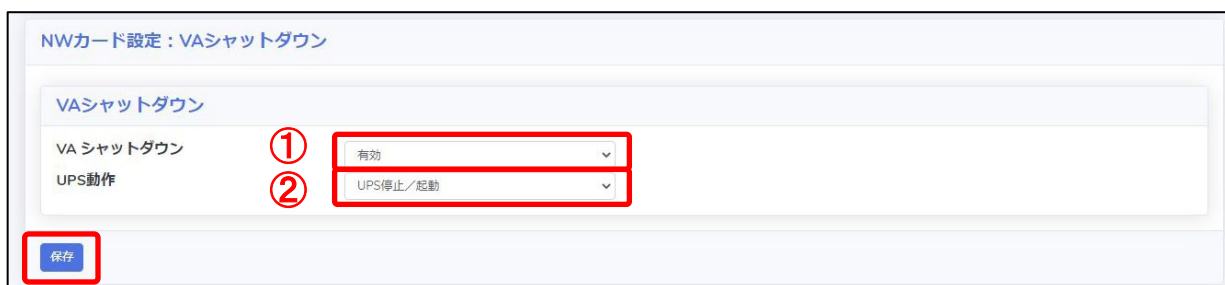
### ・VA シャットダウン設定

画面左側のメニューから『NW カード設定』を展開し、『VA シャットダウン設定』を選択します。



設定画面の①②の設定完了後、画面左下の【保存】ボタンを押下します。

#### 《設定画面》



#### 《設定項目説明》

- ① VA シャットダウンの『無効』、『有効』を設定します。  
※『有効』を設定した場合、SC21 の死活監視機能は使用できません。
- ② VA シャットダウン時の UPS 動作を『UPS 停止』、『UPS 停止/起動』、『継続運転』から設定します。

#### 《設定値》

以下は、本構成のシャットダウンに使用する『VA シャットダウン設定』の設定例です。

| VA シャットダウン | UPS 動作    |
|------------|-----------|
| 有効         | UPS 停止/起動 |

## ■参考情報

本書における参考情報を記載します。

### ▼待ちスクリプト

停止優先度設定や起動優先度設定の処理の間に、待ち時間を設けたい場合のスクリプトの設定例です。

本設定例は処理を 3 分間(180 秒間)待つ例です。

| スクリプト名  | IP アドレス/ホスト名                | ユーザ ID/パスワード                     | タイムアウト時間<br>(min) | コマンド      |
|---------|-----------------------------|----------------------------------|-------------------|-----------|
| Sleep3M | VirtuAttendant の<br>IP アドレス | VirtuAttendant の<br>ユーザ ID/パスワード | 4                 | sleep 180 |

### ▼vGS のパスワードを変更した時の設定方法

VirtuAttendant は vGS の REST API を使用して仮想マシンの制御を実現していますので、

vGS のパスワードを変更した時は、VirtuAttendant で設定ウィザードを再度実行して、パスワードの変更を反映してください。

※ [【スクリプト設定】](#)(p.36～p.41)の内容が自動更新されます。

p.38 で記載している No.21 以降のスクリプトが自動更新対象となりますので、No.21 以降のスクリプトをご確認いただき、必要に応じてご変更ください。

以上